

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

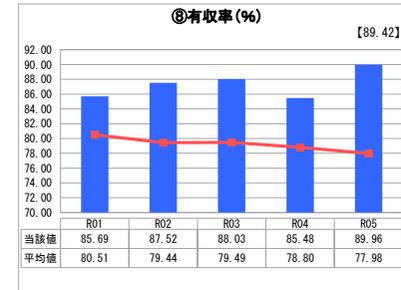
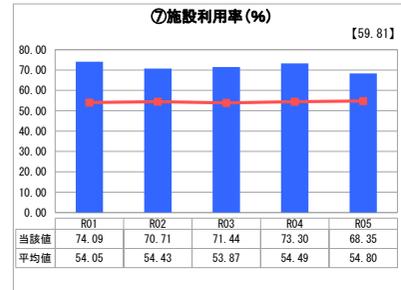
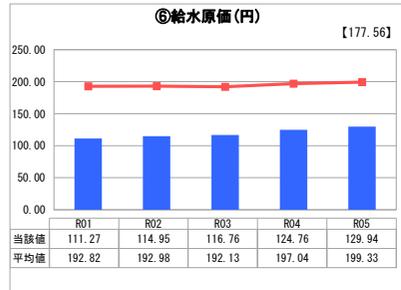
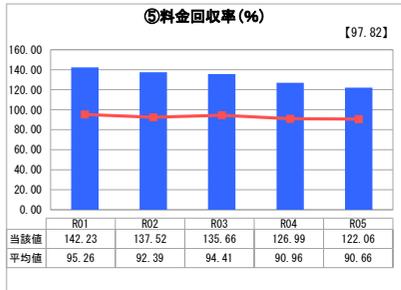
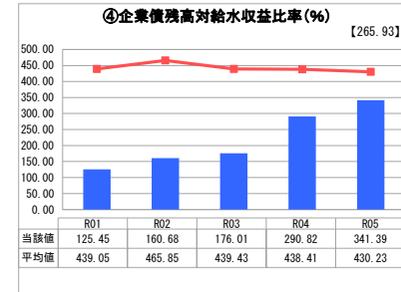
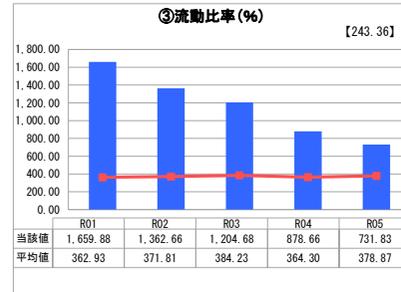
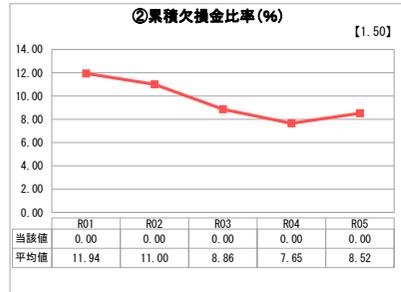
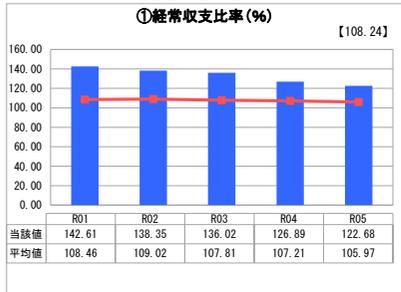
長崎県 佐々町

| 業務名        | 業種名          | 事業名     | 類似団体区分                         | 管理者の情報 |
|------------|--------------|---------|--------------------------------|--------|
| 法適用        | 水道事業         | 末端給水事業  | A7                             | 非設置    |
| 資金不足比率 (%) | 自己資本構成比率 (%) | 普及率 (%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円) |        |
| -          | 73.24        | 99.88   | 3,190                          |        |

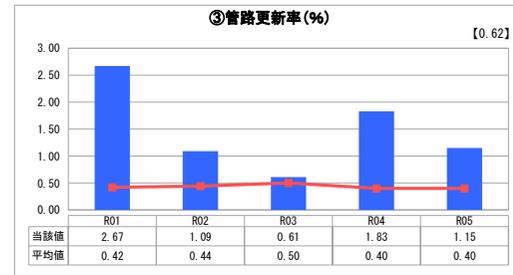
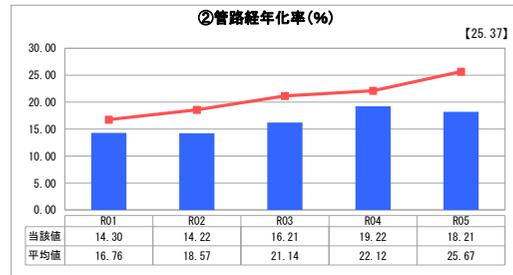
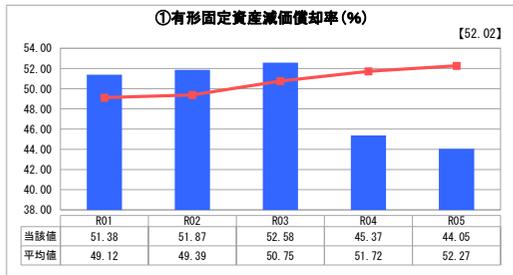
| 人口(人)     | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )   |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 13,988    | 7,409.18                 | 1.89                       |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km <sup>2</sup> ) | 給水人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 13,850    | 11.83                    | 1,170.75                   |

| グラフ凡例          |
|----------------|
| ■ 当該団体値(当該値)   |
| — 類似団体平均値(平均値) |
| 【】 令和5年度全国平均   |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、物価高騰の影響と減価償却費の増加により、前年度と比較すると低い水準になっているが、特定企業による安定的な収益が確保されていることに加えて、企業債利息と減価償却費が低く抑えられているため、類似団体比較となると良好な水準となっている。

③流動比率、④企業債残高対給水収益比率は、前年度の投資的事業が大幅に増加したことに伴い、その財源として借り入れた企業債も大幅に増額したことから、負債が増加し、それぞれ数値が増減している。

⑤料金回収率は、安定して100%を上回っており、給水に係る費用は給水収益（水道料金収入）のみで賄うことができており、将来の給水人口は年々減少傾向となることから予測されるため、今後は減少していく見込みである。

⑥給水原価は、物価高騰の影響と減価償却費の増加により、前年度と比較すると高い水準になっているが、企業債利息と減価償却費が低く抑えられているため、類似団体比較としては低い原価となっている。

⑦施設利用率は、特定企業による需要が高いため、類似団体比較よりも高い水準となっている。

⑧有収率は、前年度と比較して高い水準となり、類似団体比較としても良好な数値となっている。今後もも漏水調査を行うことで有収率の向上に努めていきたい。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、前年度の投資的事業により新規資産の取得が増加したため、前年度と比較すると低い水準となり、類似団体比較としても良好な水準となっている。

②管路経年率は、当該年度での管理更新事業を多く進めたことにより、前年度と比較してやや低い水準となっている。ただし、昭和50年～60年代にかけて拡張事業で整備した管が順次、法定耐用年数に越えてきているため、今後は上昇していく見込みである。

③管路更新率は、計画的な更新事業を進めることはできなかったが、管路新設工事が多かったことにより、前年度と比較すると低い水準となった。今後は計画的に管路更新を進めていきたい。

### 全体総括

経営の状況としては、類似団体と比較して健全な状況である。ただし、長期財政計画を作成し、今後の収支を見込んだ際、経営状況が現在より悪化していく見込みとなった。施設の再整備事業を行っていく必要があり、費用が多額になることが予想されるので、計画的な更新と財源の確保を行い、安定的な経営に努めていきたい。今後も、「佐々町水道事業ビジョン」「佐々町水道事業経営戦略」をもとに安全で安心できる水の供給が施設・経営の両面で実施できるように努めたい。